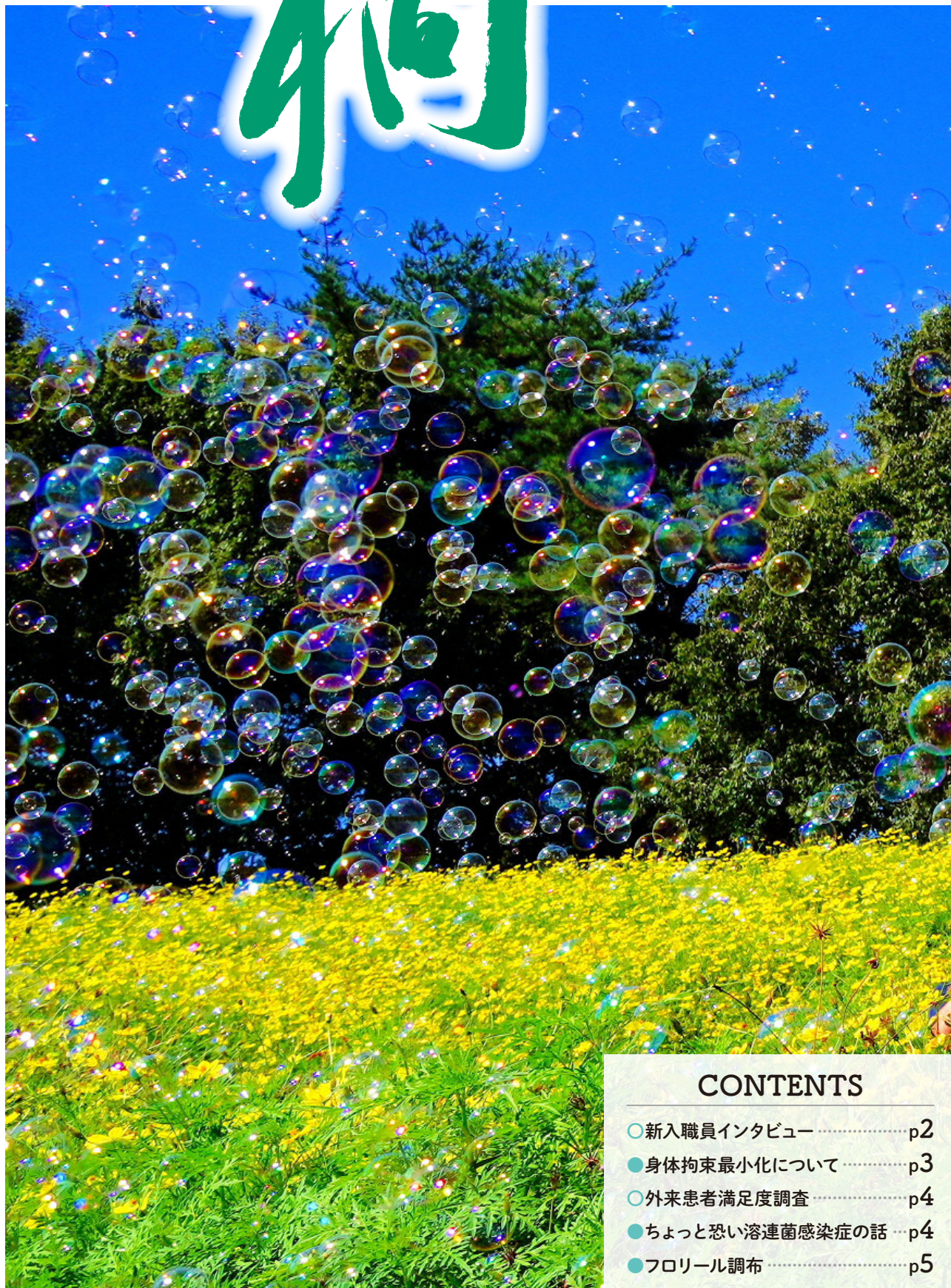




桐



CONTENTS

- 新入職員インタビュー p2
- 身体拘束最小化について p3
- 外来患者満足度調査 p4
- ちょっと怖い溶連菌感染症の話 p4
- フロリール調布 p5

新入職員

くまがい ちから
4F看護主任 熊谷 力さん



①ご出身は？

東京都。坂が多く、緑も比較的に多いところ。

②看護師を目指した理由は？

専門的に人の役に立てる職業として志しました。

③最近のマイブームは何ですか？

晩酌(大〇郎の焼酎をブラックコーヒーで割る)。二日酔いも少なく、マイルドな口当たりになり、好きな人はハマると思います。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

調布病院で良かったといってもらえる一人になれるよう頑張ります。

新入職員

いむら えりな
2F看護師 飯村 江莉奈さん



①ご出身は？

青森県。田んぼと畑に囲まれた静かな町です。空気が澄んでいて、夏は流れ星がたくさん見えます！

②看護師を目指した理由は？

前職より介護職をしており、その中で高齢者の病気や身体のことについて知識を得たいと思い、30代になってから看護師を目指しました。

③最近のマイブームは何ですか？

梅干し、キレートレモン！すっぱさとスキッとする爽快感にハマっています。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

皆さんの入院生活が笑顔になれるよう一生懸命務めさせていただきます。よろしくお願いします。

新入職員

やまだ えみ
理学療法士 山田 恵実さん



①ご出身は？

調布市。映画の街、自然豊かな深大寺、スタジアムと様々な強みのある住みやすい場所です。

②理学療法士を目指した理由は？

理学療法士を目指した理由はデイサービスで働いていた頃、あるSTさんとの出会いがあり、その方の介入の素晴らしさに憧れて専門性を持った介入をしたいと思いました。元々、運動が好きだったこと、デイサービスで体操をさせていたこともあり、理学療法士になりたいと思いました。

③最近のマイブームは何ですか？

最近ゴルフを始めたので、ゴルフの打ちっぱなしに行くこと。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

今できる全力で皆さんの身体が良くなるように頑張りますので、元気になるお手伝いをさせていただきます！

新入職員

しらいわ しょうた
2F看護師 白岩 翔太さん



①ご出身は？

神奈川県横須賀市。海が目の前にある町です。ドブ板通りというアメリカンなバーがずらりと並んでいる商店街はおすすめの場所です。

②看護師を目指した理由は？

地域の病院で一日看護体験というイベントに参加させていただいた際、看護という仕事を知り、目指そうと思いました。

③最近のマイブームは何ですか？

趣味であるバイクに乗り、気分転換をすることです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

当院の理念でもある、あなたで良かったと思ってもらえるような看護を提供したいと思います。

新入職員

あおやぎ ゆうき
4F看護師 青柳 優希さん



①ご出身は？

山梨県。富士山や南アルプス、八ヶ岳など自然豊かな山々があり、登山やハイキング、キャンプで県外から来る人もいます。また、果物の名産地でもあり、ぶどう、もも、さくらんぼなど美味しい果物がたくさんあります。

②看護師を目指した理由は？

「誰かの心に寄り添うことのできる人になりたい」と思い看護師を志しました。身体面だけではなく精神的な面からも患者さんを支えたいと思っています。

③最近のマイブームは何ですか？

サウナに行くことです。日々の疲れとリフレッシュができます。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

患者さんが不安に感じたり、困ったりした時にそばにいて、お話を伺い、サポートすることにやりがいを感じています。私の目標は患者さんが安心して治療に専念できる環境を提供し、心に寄り添う看護師でいることです。どんな些細なことでも構いませんので、お困りのこと、心配事があれば声をかけてください。

新入職員

なら あやの
医事課(クラーク) 奈良 綾乃さん



①ご出身は？

横浜。幼い頃に東京へ引っ越したのでよく覚えていません。親によると、開発で当時の面影はだいぶ薄れているそうです。

②クラークを目指した理由は？

事務職で、誰かの助けになれるような業務をしたいと思ったからです。

③最近のマイブームは何ですか？

地域猫を愛でることです。写真を撮ったりおやつを献上しています。機嫌のよい日はおなかを触らせてくれる、とてもかわい猫達です。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

少しでも調布病院を利用される方の支えになれるよう、笑顔で優しくをモットーに努力していきます。



新入職員インタビュー



当院は身体拘束最小化へ向けて取り組んでおります

患者様にとって負担が大きい身体拘束は、ご本人様の尊厳を傷つけるとも捉えられる行為でもあり、可能であれば行いたくない医療行為ではありますが、離床や転倒、転落、大事な管を抜いてしまう行為を防ぐ為の抑制は、高齢化が進むにつれその頻度も高くなっているのが現状です。

先日、身体拘束最小化に取り組んでおられる急性期の南多摩病院を訪問させていただき、貴重なお話を伺うことができました。

職員の意識を改善することから始め、抑制に代わる方法を考え、職員の体幹抑制体験研修、他部署をラウンドで多くの意見交換をされたことで、少しずつ職員の意識が変わり結果的に抑制率低下に繋がったそうです。

当院でも、目が行き届く昼間の時間帯は拘束解除したり、写真にありますケアマフを代用します。



これはミトンの代わりになるもので、毛糸で編み込み両手が入る筒状のもので、中には手遊びができる柔らかい棒状のものが付いているので落ち着いていられます。

これからも患者様にとっての安全安楽な療養環境が提供でき、身体拘束の最小化が進むよう、院内の方々に協力を得ながら、努めていきたいと思います。

2階病棟 赤瀬 寿枝

身体拘束最小化について

今年度より診療報酬改定で認知症ケア加算が見直されました。病院長、看護部、療養病棟の5名で身体拘束ゼロへの取り組みを実施している「昭和の杜病院」へ見学に行き、昭和の杜病院で実施している身体拘束低減の実績を聞きました。

昭和の杜病院では、ルート類を抜かれないようにミトンの代わりに吸引チューブを握らせたり、ルートを固定するテープの貼り方を工夫。また必要性を検討し食事への移行やルート類の早期抜去を試みる取り組みをしていました。

また、医療側の都合（「抜かれたら困る」「人がいない」など理由）で身体拘束を実施しており、なかなか解除できない現状にも気づかされました。



今後はできるだけ抑制解除する時間を設け、身体拘束以外にできることはないのか、本当に必要な抑制なのか日々検討しながら身体拘束最小化を目指していきたいと思います。

療養病棟 松本





外来患者満足度調査

令和6年3月1日～3月31日の間に【外来患者満足度調査】を実施いたしました。ご協力いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

たくさんの温かいお言葉をいただく一方、今後への貴重なご意見やご要望も数多くいただきました。今後の医療向上に、皆様からいただいた評価一つ一つを真摯に受け止め、関係部署で十分に協議・検討を行い、改善活動に努めてまいります。

皆様からの お言葉

※一部抜粋して掲載させていただいております。

- 信頼できる先生方に恵まれ感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。
- 全体としすべて大満足です。いつもお世話になりありがとうございます。
- 採血の方パーフェクトでした。



ご意見 ご要望

- 院内の受付あたりの電波が悪いのでフリーWi-Fiほしいです。
- バスの便がもう少しほしいです。

患者様には、ご不便・ご迷惑をおかけし申し訳ございません。担当部署にて協議させていただきます。

- 保険証の提示についてももう少しスムーズな対応や方法を考えて欲しいと毎回思いますので宜しくお願いします。

医療機関は、毎月1回保険証を確認するよう、厚生労働省により義務づけられています。当院は非対面式のオンライン資格確認システムを導入し、マイナンバーカードが健康保険証として使用可能となっております。総合受付に2台カードリーダーを設置しておりますので、画面の指示に従い健康保険証情報の提示にご利用をお願いします。



● Web予約について ●

令和5年8月1日より一部診療科においてWeb予約の運用を開始しました。**Web予約が出来るのは診察券番号をお持ちの方のみ**となります。診察券をお持ちの方は、是非ご利用ください。

なお、予約枠には限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。ご理解のほどよろしくお願いします。

調布病院 業務改善委員会

外来患者満足度調査

ちょっと怖い溶連菌感染症の話

溶連菌感染症とは子供のころに一度は感染した方が多く、潜伏期間が2～5日、発熱や急性咽頭痛から、舌が白いコケに覆われたようになって数日後には赤いブツブツの莓舌が発生するのですぐわかります。合併症として細菌が爪の先から繁殖し、掻くと皮膚を傷つけ、飛び火して感染を広げます。なお、自宅の軟膏をむやみに塗ると悪化のケースもあるので医療機関受診が大切です。感染は飛沫や接触感染……コロナと同じマスク、手洗い、うがいで予防が有効でペニシリン系抗菌薬で治療します。感染しても無症状の事が多く上記症状に留まります。

しかし、同じ溶連菌感染症でも『劇症型溶血性レンサ球菌感染症（劇症型溶連菌）』は“人喰いバクテリア”とも云われ、現在過去最多のペースで広がっています。

小児と違って30歳以上がほとんどで、発病から病状の進行が急激かつ劇的です。初期は発熱、全身倦怠感、敗血症（低血圧）症状、筋痛……ただし明らかに症状がないこともあります。やがて局所発赤、腫れと痛み、発症数十時間以内には筋肉周囲組織の壊死を起こし、血圧低下や多臓器不全からショック状態……救命が難しいことも少なくありません。

感染者の半数は感染経路が不明で通常は細菌が存在しない血液や筋肉、肺にレンサ球菌が侵入することで発症するので靴擦れや水虫など小さな傷でも放っておかず清潔に保つことが重要です。

東京都では手足の膨張や痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合があれば速やかに医療機関を受診するよう呼び掛けています。



溶連菌感染症

内科医師 清水 久裕 監修

ご案内します！



6月26日「第1回 府中・調布老健の集い」 調布病院・フロリール調布5階にて開催しました

東京都看護協会地域包括ケア委員会多摩南地区が主催し、介護老人保健施設（以下老健）の看護・介護職にお集まりいただき、「第1回府中・調布老健の集い」を開催いたしました。老健・病院の6施設、9名に参加いただきました。

終了後参加者の皆様より、「同じ地域で働く者が顔を合わせ話し合いができたことはとても良かった。思いが共有できた。」「このような場があればいいと思っていた。楽しかった」「次回もまたお願いしたい。」などの感想が寄せられました。



介護老人保健施設
フロリール調布



三菱UFJ銀行新入社員さん達が職場体験に来ました！

5月15日（水）、16日（木）二日間にわたり、三菱UFJ銀行の新入社員5名がフロリールへボランティア体験にいらっしゃいました。

ご利用者様と一緒に脳トレプリントをし、午後のレクリエーションをする事で、交流を深めていただきました。

1日目

午前中は脳トレプリント



午後はレクリエーションで対決！ 足で新聞折りたたみリレー



2日目

午後は新入社員の5名が企画したレクリエーションで大変盛り上がりました！

バケツに玉入れ



どんどん投げだてー！

スプーンビー玉運び



慎重に…急いで…



むずかしいー！

職員はお箸で
ビー玉運び！

風船バレー



声掛け合ってー！

ご利用者様皆様も熱くなる、
楽しいお時間になりました！